

ふじのくに
茶の都しずおか
構 想



静岡県経済産業部 農林業局 茶業農産課

〒 422-8607 静岡市駿河区南町 14-1
水の森ビル 3 階
TEL : 054-202-1488
FAX : 054-202-1480



静岡県

① はじめに	1
② ふじのくに「茶の都しずおか」憲章	2
③ 多彩なお茶の資源 ～ふじのくに「茶の都しずおか」の現状	3
④ ふじのくに「茶の都しずおか」の目指す姿	5
⑤ 推進方向	6
茶文化の継承と創造	8
お茶のある豊かで健やかな暮らし	9
茶に関する学術研究の推進と研究情報の集積発信	10
日本一の茶産地としての静岡の茶産業の振興	11
お茶の魅力発信と静岡らしいおもてなし	12
人材の育成と組織連携	13
ふじのくに「茶の都しずおか」から国内外に発信	14
ふじのくに「茶の都しずおか」の拠点づくり	15
⑥ 推進体制	16
⑦ 参考資料	17



はじめに

静岡県では、古くからお茶が栽培され、西は浜松から東は御殿場まで、北は井川、天竜から南は御前崎まで、県内のあらゆるところでお茶が栽培され、生産量で全国の4割を占めるとともに、流通量で6割を占める、生産、流通の拠点となっております。

また、茶の栽培に適した気象条件に加え、長い歴史の中で先人によって培われた匠の技と、一流の生産者の努力により、全国的なお茶の品評会などで天皇杯や農林水産大臣賞を多く受賞するなど、日本一の茶産地を築いてまいりました。

さらに、お茶に関する産業も県内に多く集積し、生活にお茶が根付いており、お茶に親しんでいます。お茶の消費量は、全国平均の2倍となっており、日本一お茶を飲む県でもあります。本県の「健康寿命」が男女総一位となりましたのは、日頃から県民の皆様がお茶をたくさん飲んでいることが要因として挙げられます。

これらに加え、お茶の歴史、文化、景観など優れた資源が豊富にあります。

そのため、この多彩な資源を活かし、産業、文化、学術等の視点から、お茶の持つ魅力を磨き、「場の力」を活かした静岡茶のブランドの確立・強化を図るとともに、県民の皆様がお茶で心や体が健やかになり、多くの方が集う、まさに「山は富士、お茶は静岡、茶の都」と呼ばれるにふさわしい「茶の都」づくりを進めていくことで、「静岡茶」だけでなく「茶の都しずおか」の魅力を国内外に発信してまいります。

静岡県知事 川勝 平太

お茶は、単なる嗜好飲料ではなく、心を癒し、コミュニケーションを円滑にするツールとして世界中で親しまれてきました。

中国からもたらされた茶は、我が国では独特の発展をとげ、蒸し製の「日本茶」として和食文化に重要な役割を果たすとともに、「茶の湯」に象徴されるように、美術工芸、建築、文学、宗教などを包括する総合的な生活文化として日本文化の一角を形成してきました。

また、お茶はもてなしの心を表現し、異なる文化を持つ人々の交流の場を演出するものでもあり、国の内外で紛争の絶えない現状の世界の平和に寄与すると考えられます。

静岡県が、「茶の都」としての資質を一層高め、お茶の持つさまざまな力が国内外に発信されることを期待し、ふじのくに「茶の都しずおか」構想を策定しました。

この構想の実現により、地域社会が、そして世界が豊かになることを期待します。

「茶の都しずおか」構想検討会 座長
静岡文化芸術大学 学長 熊倉 功夫

ふじのくに「茶の都しずおか」憲章

私たちは、「茶の都しずおか」を目指し、次の世代に茶を継承していくため、固い決意のもと、ここに「ふじのくに茶の都しずおか憲章」を定めます。

- 一、 お茶の文化を守り育てましょう
- 一、 お茶の産業を一層発展させましょう
- 一、 お茶の機能を学んで健康になりましょう
- 一、 お茶を通しておもてなしの心を育みましょう
- 一、 お茶を通して平和な社会を築きましょう

ふじのくに「茶の都しずおか」に住む我々は、
5か条を心にとどめ、
毎日、ありがたく、お茶をいただきます。

平成26年3月

静岡県

多彩なお茶の資源

～ふじのくに「茶の都しずおか」の現状～



文化 茶の歴史と文化が息づいている

- ・ 聖一国師がお茶を伝えて以来、約 800 年の長い歴史
- ・ 茶の記念碑や歴史的建物 40 か所以上
- ・ 島田市お茶の郷をはじめ多くの茶文化体験施設の存在
- ・ 煎茶道の 3 流派の家元や茶の湯愛好者の存在
- ・ 手揉み、茶草場農法など伝統的な農法の伝承



生活 茶が生活に根付いている

- ・ 全国平均の約 2 倍の消費
茶購入量、額 (全国順位)
静岡市 1 位 浜松市 2 位
- ・ 茶で健康長寿を実現
健康寿命 全国 1 位



学術 茶の学術研究が盛んである

- ・ 茶の研究を行う大学や研究機関が集積
- ・ 国際 O-CHA 学術会議を 3 年毎に開催
- ・ 静岡県立大学「茶学総合研究センター」の開設



産業

茶の生産、流通が日本で静岡の農産物の代表である

- ・ 全国の荒茶生産量の 40% を占める
- ・ 全国茶の 60% が静岡県内を通して流通
- ・ 牧之原大茶園を始め、県内の大半の地域でお茶を生産
- ・ 製茶機械メーカーなど関連産業が集積



観光

優れた茶園景観や資源がある

- ・ 山や里の茶園、富士山を背景にした茶園などの美しい景観
- ・ 「島田市お茶の郷」などの茶文化体験施設、「茶草場」などの観光資源



県内の茶に関する主な資源



ふじのくに 「茶の都しずおか」 の目指す姿



- 茶を楽しみ、歴史に触れ、茶の文化を守り、日々の暮らしにおいて茶の魅力が実感できる「茶の都」
- 茶の生産、流通日本一の誇りをもって、高い品質、匠の技に磨きをかけ、世界の茶の産業・情報が集まる「茶の都」
- 茶の機能性・効用や文化の研究を一層推進し、茶のある豊かで健やかな暮らしを実現する「茶の都」
- 訪れる人をお茶によるおもてなしで温かく迎える「茶の都」
- お茶によるコミュニケーションで相互の理解を進め、平和な社会を築く「茶の都」



文化 茶文化の継承と創造

- 1 茶の歴史や文化を学べる環境づくり
- 2 新たなお茶の楽しみ方の創造と発信
- 3 お茶を活用した食育（茶育）

推進方向

生活 お茶のある豊かで健やかな暮らし

- 1 お茶と和食文化を組み合わせた静岡らしい和の食文化の定着
- 2 緑茶を飲む習慣と健康長寿の一体的推進
- 3 お茶を楽しむ場所・機会の増加

学術 茶に関する学術研究の推進と研究情報の集積発信

- 1 茶に関する研究の推進
- 2 研究情報の集積と発信
- 3 茶の歴史・文化に関する資料の収集と展示

産業 日本一の茶産地としての静岡の茶産業の振興

- 1 地域の核となるビジネス茶業経営体の育成
- 2 魅力的な「静岡茶」づくり
- 3 茶の販売と流通の強化

観光 お茶の魅力発信と静岡らしいおもてなし

- 1 世界遺産（富士山、和食文化、茶草場農法）を活用した魅力の発信
- 2 お茶で迎える静岡らしいおもてなし
- 3 グリーンティーツーリズムの推進
- 4 茶の機能性や効用を学ぶ場づくり

人材育成 人材の育成と組織連携

- 1 人材の育成
- 2 茶関係団体が一体となった取組
- 3 市民活動との連携

情報発信 ふじのくに「茶の都しずおか」から国内外に発信

- 1 世界お茶まつりの開催
- 2 (公財)世界緑茶協会による情報の集積と発信

拠点づくり ふじのくに「茶の都しずおか」の拠点づくり

- 1 「茶の都」の中心としての機能を持った拠点づくり



茶文化の 継承と創造



1 茶の歴史や文化を学べる環境づくり

- ・日本の茶文化、世界の茶文化が学べる場づくり
- ・伝統ある茶道の文化の情報発信

2 新たなお茶の楽しみ方の創造と発信

- ・お茶を楽しむ新たなスタイルの提案
- ・器、お菓子、お茶を組合わせたおしゃれなお茶の楽しみ方の提案

3 お茶を活用した食育（茶育）

- ・お茶についての学習を通じて、食文化、食と健康、茶の生産、おもてなしの作法などを子どもたちに身に付けてもらう機会の創出



お茶のある 豊かで健やかな 暮らし



茶に関する 学術研究の推進と 研究情報の 集積発信



1 お茶と和食文化を組み合わせた静岡らしい 和の食文化の定着

- ・ お茶と豊富な地場の食材を活かした和の食文化の推進
- ・ 現代の生活スタイルにマッチした新たなお茶の楽しみ方の提案

2 緑茶を飲む習慣と健康長寿の一体的推進

- ・ 健康福祉、教育分野と連携したお茶の健康機能性の周知
- ・ 緑茶消費量、健康寿命ともに日本一を誇る豊かな暮らしの継承

3 お茶を楽しむ場所・機会の増加

- ・ 緑茶カフェの増加
- ・ 各地域、関係団体によるお茶を楽しむ茶会や茶関連イベントの開催推進



1 茶に関する研究の推進

- ・ 茶の生産・加工
- ・ 茶の機能性・効用
- ・ 茶の歴史と文化



2 研究情報の集積と発信

- ・ 世界の茶の研究情報の集積、発信
- ・ 静岡県立大学「茶学総合研究センター」を中心とした国内外の研究機関とのネットワーク構築
- ・ 国際的な学会、研究会等の開催
- ・ 研究成果の一般向け情報発信

3 茶の歴史・文化に関する資料の収集と展示

- ・ 茶の歴史や文化に関する資料や茶の産業遺産等の資料の収集と展示



日本一の 茶産地としての 静岡の茶産業の 振興



お茶の魅力発信と 静岡らしい おもてなし



1 地域の核となるビジネス茶業経営体の育成

- ・ 高い経営力を持った茶業経営体の育成
- ・ 安定生産が可能な生産基盤づくり
- ・ 持続的な茶業の推進

2 魅力的な「静岡茶」づくり

- ・ 高品質な味や香り高いお茶に加え、現代のライフスタイルに合った新たな商品の創造
- ・ 新たな商品の全国への情報発信
- ・ 安心、安全な商品づくり

3 茶の販売と流通の強化

- ・ 効率的な販売のための流通強化と輸出促進
- ・ 茶の集積機能の強化



1 世界遺産（富士山、和食文化、茶草場農法）を 活用した魅力の発信

- ・ 茶畑のある美しい景観、伝統的農法を観光資源として活用し、国内外からの誘客を促進
- ・ 和の食文化とお茶を一体的に発信

2 お茶で迎える静岡らしいおもてなし

- ・ おいしいお茶を提供する飲食店や宿泊施設の増加
- ・ ふじのくに食の都づくり仕事人との連携



3 グリーンティーツーリズムの推進

- ・ 観光産業と連携したグリーンティーツーリズムやお茶の魅力に触れる機会の拡充
- ・ 茶生産地ならではの体験等を通じた静岡茶のファンづくり

4 茶の機能性や効用を学ぶ場づくり

- ・ 茶の機能性や効用、茶と健康長寿についての体験



人材の育成と 組織連携



ふじのくに 「茶の都しずおか」 から国内外に 発信



1 人材の育成

- ・教育分野と連携した茶育の推進を通じた「茶の都人(みやこびと)」の育成と、お茶に親しむ環境づくり
- ・静岡県立大学「茶学総合研究センター」を活用した「茶の都」をけん引する人材の育成
- ・日本茶インストラクター協会等と連携した日本茶文化の継承と新たな茶文化を創造する人材育成

2 茶関係団体が一体となった取組

- ・(公財)世界緑茶協会が有する海外ネットワークの活用
- ・茶の生産、流通、機械、文化などに関する団体が連携した消費拡大、魅力発信に向けた積極的取組

3 市民活動との連携

- ・各地域で活動している市民団体との連携による人材育成



1 世界お茶まつりの開催

- ・茶の「産業」「学術」「文化」に関する総合イベントとして、国内外に情報発信
- ・お茶を通じた国内外の交流促進

2 (公財)世界緑茶協会による情報の集積と発信

- ・海外の茶関連団体とのネットワークの強化
(国際茶協会(イギリス)、全米茶業協会、中国国際茶文化研究会、世界茶連合会(中国)など)
- ・海外でのイベントやウェブサイト等を通じた日本茶の魅力発信



ふじのくに 「茶の都しずおか」 の拠点づくり



1 「茶の都」の中心としての機能を持った拠点づくり

○文化

- ・世界の茶文化に関する情報、資料の収集展示
- ・伝統的な茶の湯文化等と新しい茶文化の発信
- ・茶と関連した和食文化の展開

○学術

- ・茶文化の調査研究や学術情報の集積と発信
- ・茶の歴史・文化資料や産業遺産等の収集と展示
- ・茶の科学的研究、情報の集積と発信

○産業

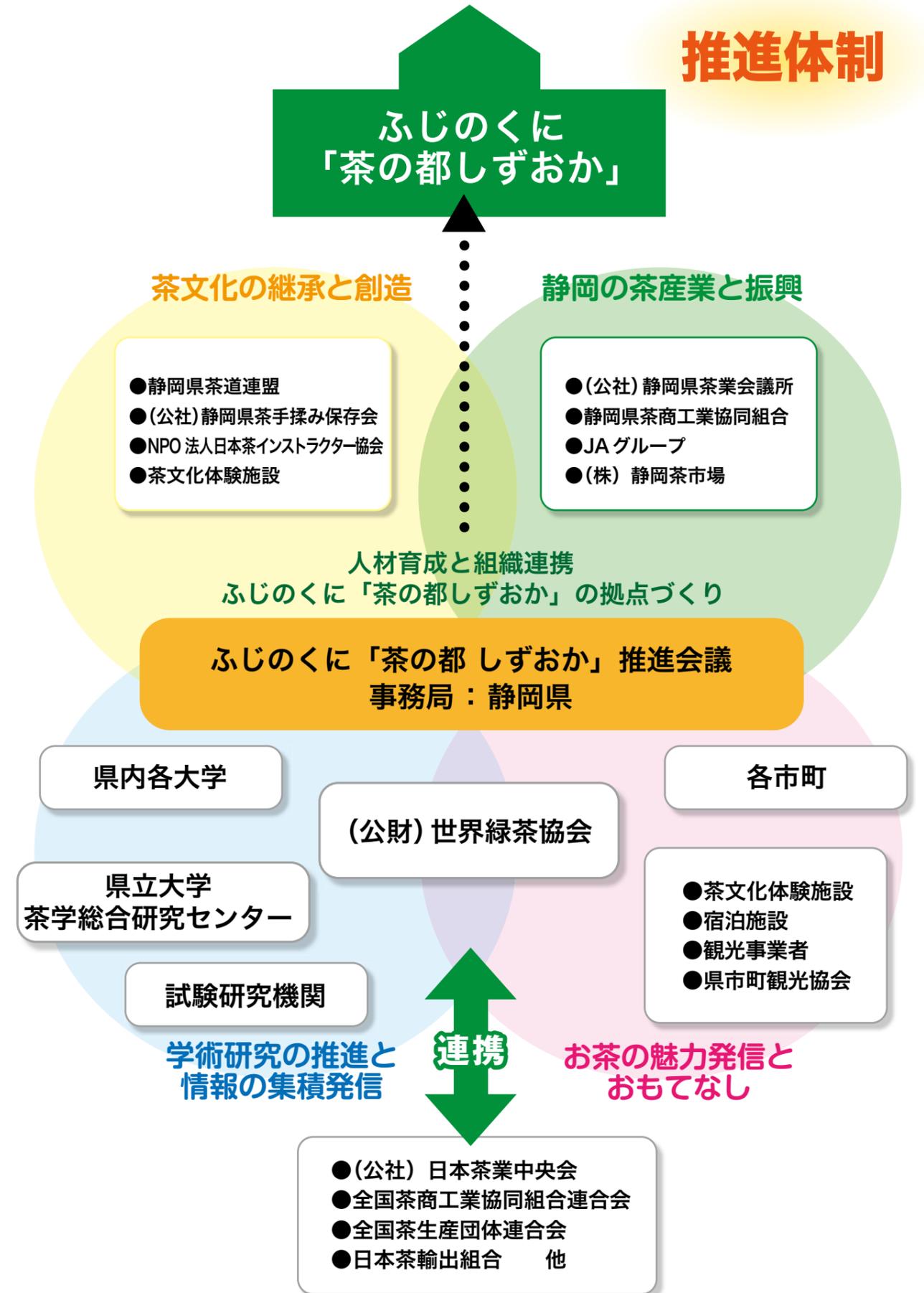
- ・国内外の茶や茶関連商品の販売や新商品の情報発信

○観光

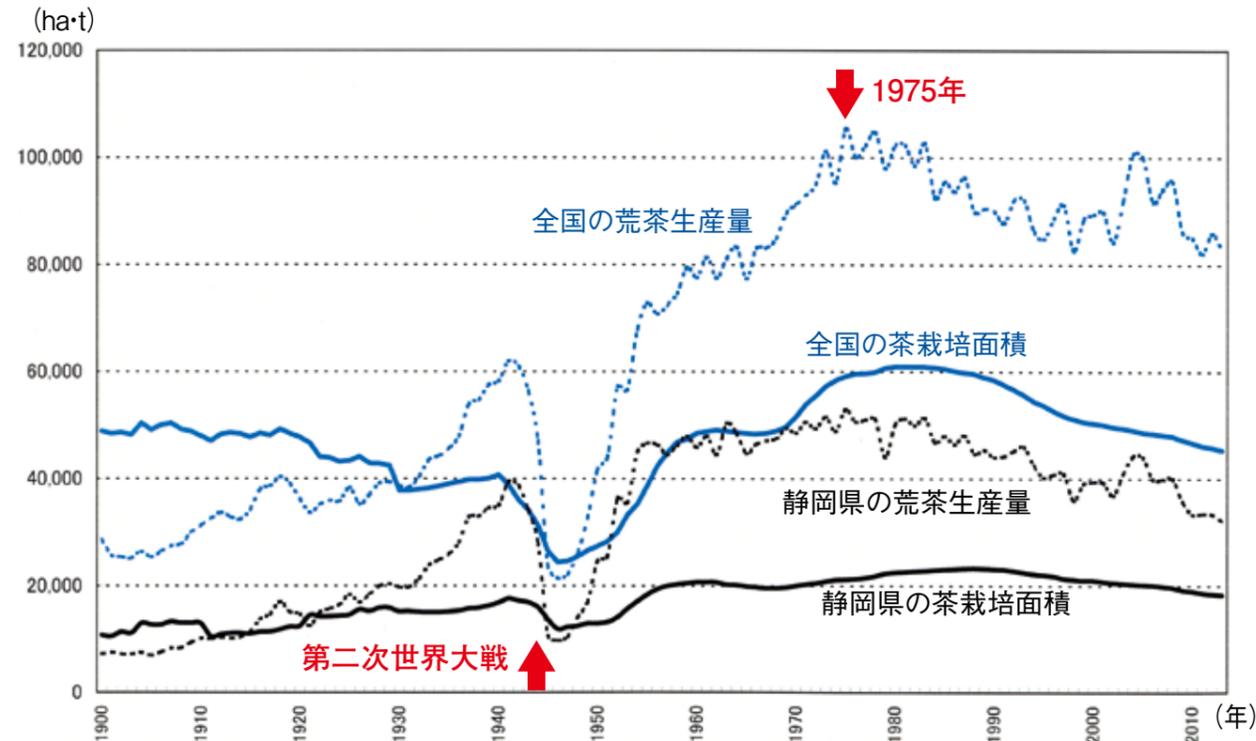
- ・茶産業の体験や学習、茶を活用したグリーンティーツーリズムの展開
- ・茶の機能性や効用、茶と健康長寿について学ぶ場



推進体制



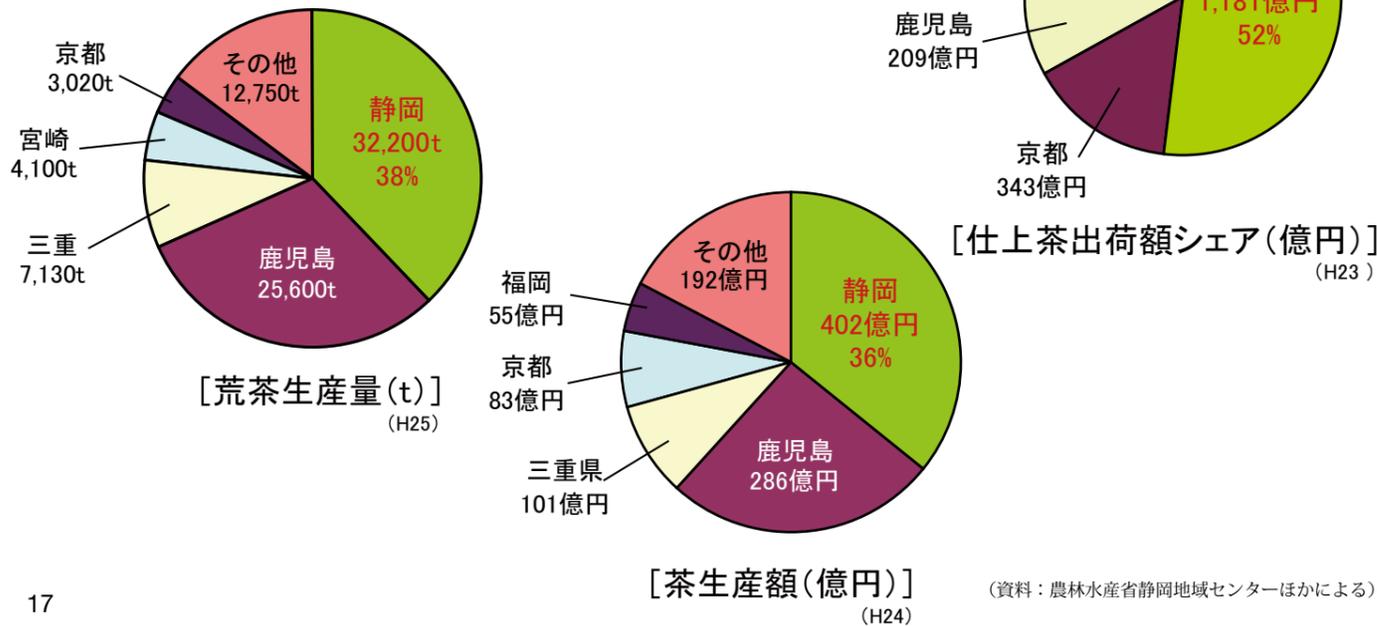
1. 日本の茶園面積と生産量の推移



(資料：農林水産省静岡地域センターほかによる)

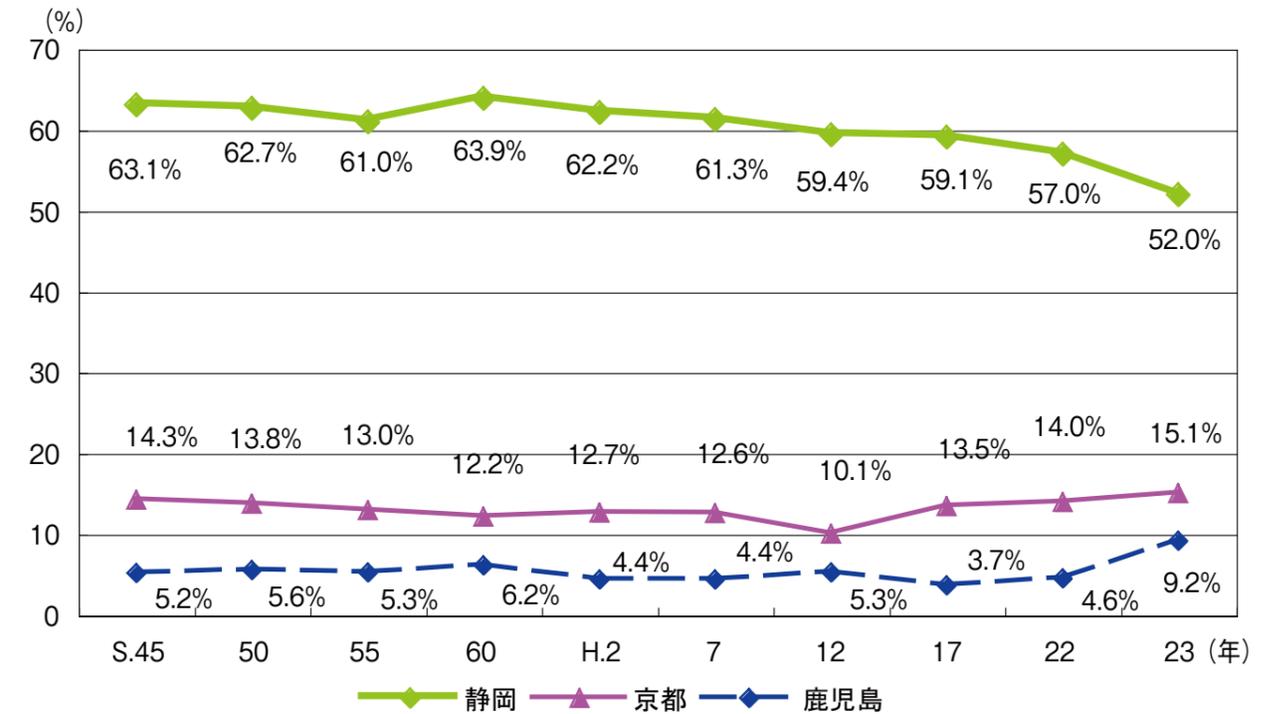
2. 静岡県茶業の全国シェア

- ・全国に占める荒茶生産量の割合は 38%。
- ・静岡県の茶産出額シェアは 36%。
- ・仕上茶出荷額（流通量）は 52%。



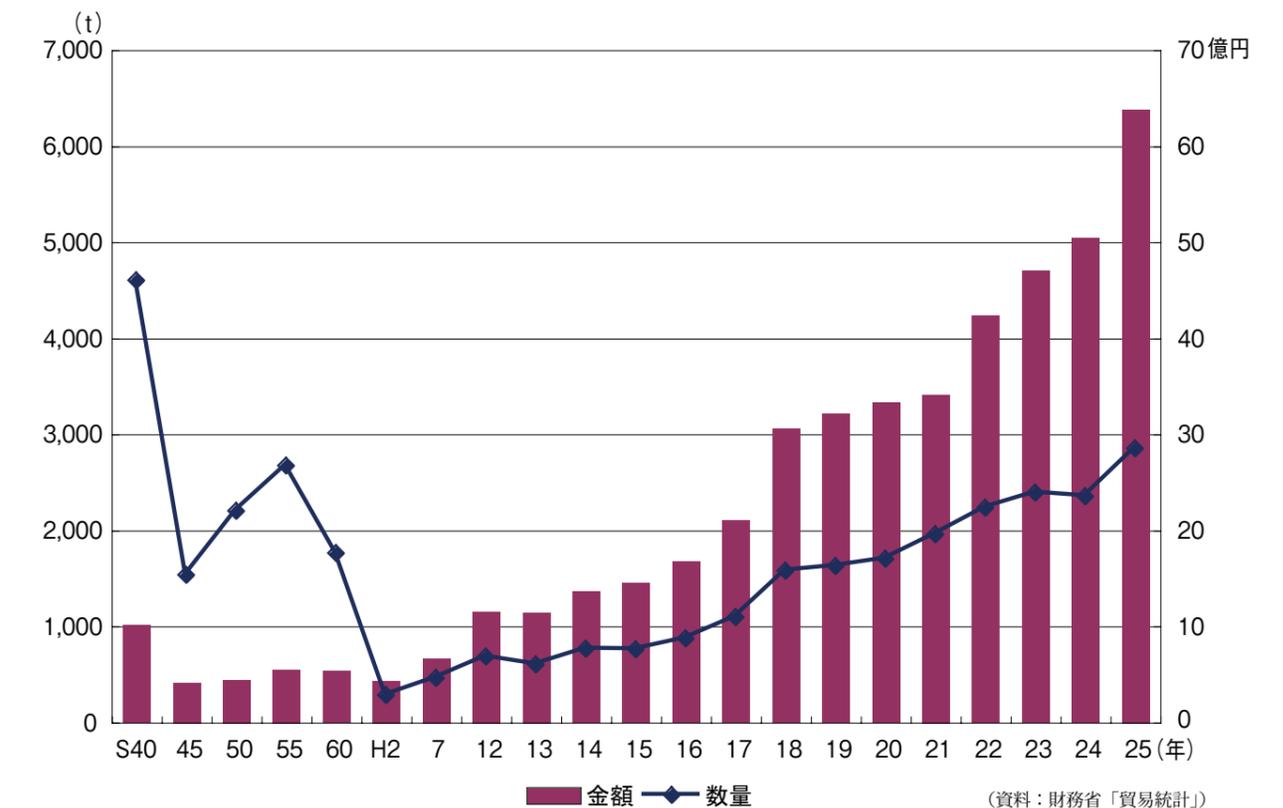
(資料：農林水産省静岡地域センターほかによる)

3. 主要生産県における仕上茶出荷額の推移



(資料：経済産業省「工業統計表」、平成 23 年は「平成 24 年経済センサス活動関連調査」)

4. 日本茶（緑茶）の輸出の推移



(資料：財務省「貿易統計」)

5. 静岡県の緑茶の消費

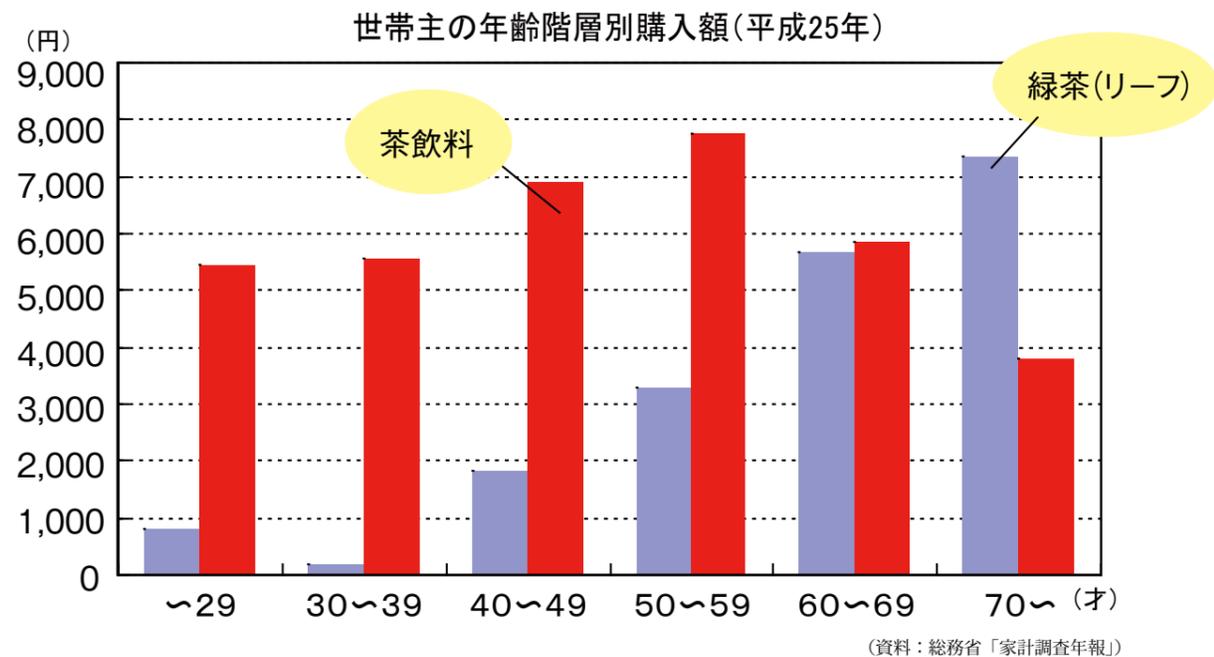
全国の政令市及び県庁所在地（51市*）の年間緑茶購入額、数量

（平成23年～25年の平均）

順位	都市名	金額（円）	数量（g）
1	静岡市	11,302	2,071
2	浜松市	8,216	1,653
3	鹿児島市	6,713	1,103
4	千葉市	6,466	1,070
5	熊本市	6,315	1,165
⋮	⋮	⋮	⋮
50	岡山市	1,865	504
51	那覇市	1,627	377
	平均値	4,379	912

*東京都特別区含む
（資料：総務省「家計調査年報」）

6. 年齢別お茶の消費



7. 静岡県民の健康寿命

厚生労働省によると、静岡県は「健康寿命」が女性で全国1位、男性で2位であり、県の試算による総合1位で、この要因の一つがお茶を飲んでいることではないかと分析している。

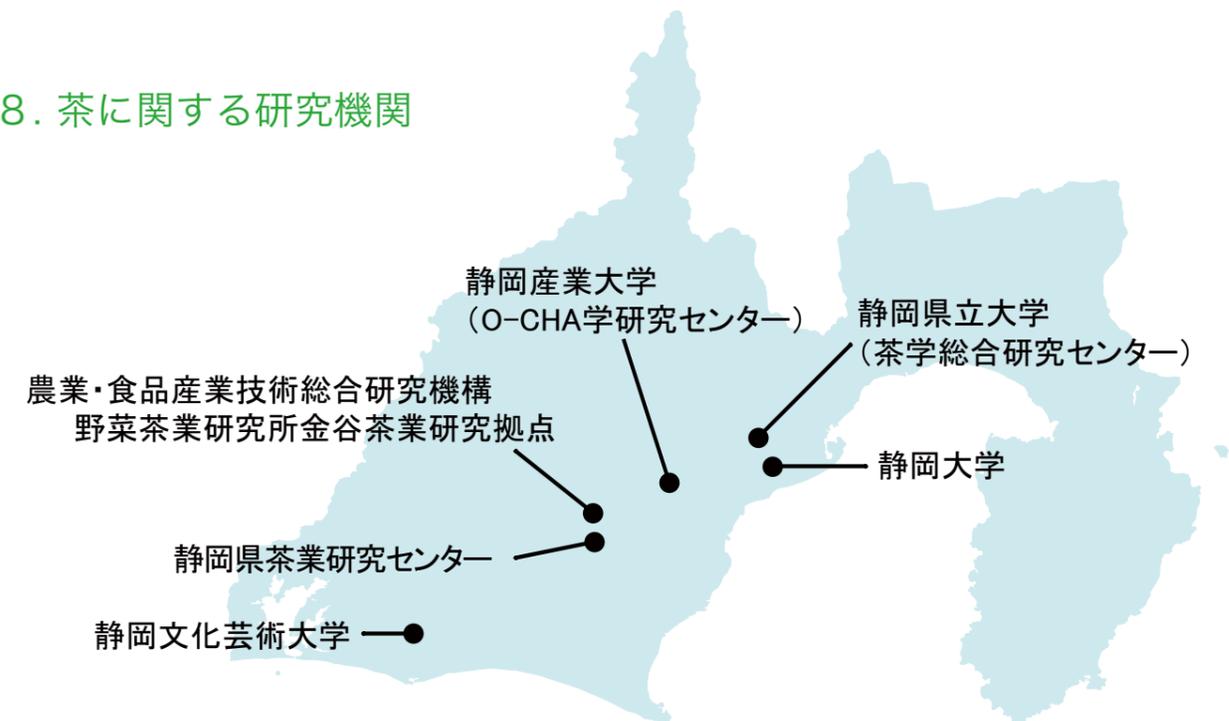
	男性		女性		
	健康寿命(才)	順位	健康寿命(才)	順位	
愛知	71.74	1	静岡	75.32	1
静岡	71.68	2	群馬	75.27	2
千葉	71.62	3	愛知	74.93	3
茨城	71.32	4	沖縄	74.86	4
山梨	71.20	5	栃木	74.86	5

（資料：厚生労働省）

○日本一になった理由として考えられること（静岡県健康福祉部）

- ・地場の食材が豊富で、食生活が豊かであること
- ・全国一のお茶の産地であり、日ごろ若者から長寿者まで、お茶をたくさん飲んでいること。
- ・健康長寿日本一に向け、県・市町が一体となって健康づくりや介護予防に積極的に取り組んできたこと。
- ・元気に働いている長寿者が多いこと
- ・温暖な気候からくる穏やかな県民性であること

8. 茶に関する研究機関



県内茶関連施設の概要

島田市 島田市お茶の郷

日本と世界の茶文化、産業、喫茶習慣、効用等を紹介し、茶に関する理解を深めてもらうとともに、茶産業、文化、観光の振興を図ることを目的として旧金谷町（現島田市）が設置。



- 設置年 平成10年
- 主な施設機能

区分	内容・特徴
博物館	○世界のお茶が楽しめるコーナー、各国の喫茶シーンの再現 ○日本茶の歴史や生産技術の発展に関する展示 ○世界のお茶の歴史に関する展示など ○地元のお茶を楽しむコーナー、石臼による抹茶づくり体験 など
茶室	小堀遠州が寛永年間に新造した奉行屋敷と書院を復元。
日本庭園	小堀遠州が作庭した院御所（仙洞御所）の東庭を復元。
商業館	レストラン、売店、喫茶

静岡市駿河区 しずおかO-CHAプラザ

多くの方に静岡茶の魅力を知っていただくための情報発信拠点として県が設置。日本茶インストラクターが県内産緑茶の特徴を活かしたおいしい淹れ方を解説。年間を通じて季節にあったお茶の楽しみ方を提案するミニ講座を実施。



- 設置年 平成18年
- 主な施設機能

区分	内容・特徴
静岡茶の魅力発信	県内産地銘柄茶を体験する機会の提供や静岡茶の情報発信。
文化、学術の情報発信	静岡産の茶文化の提案、茶に関する学術情報の集積と発信。
交流の場	国内外の茶関係者や県民が訪れる交流拠点。

藤枝市 玉露の里

玉露の三大産地のひとつ旧岡部町（現藤枝市）が設置。「瓢月亭」には、腰掛席、大広間、本格的茶室があり、作法や、正座の苦手な方でも気軽にお茶がいただける。国土交通省指定の「道の駅」でもあり、季節に応じた多彩なイベントも実施。



- 設置年 平成3年
- 主な施設機能

区分	内容・特徴
茶室	「瓢月亭」。数寄屋造り風の茶室で、玉露や抹茶、お菓子が味わえる。
食事・売店	「茶の華亭」。地元産の玉露や山・川の幸を用いた料理が味わえる。
庭園など	長屋門、茶花園、日本庭園、ひょうたん池など。

菊川市 静岡県農林技術研究所 茶業研究センター

お茶の栽培育種、生産環境、商品開発を研究する県の研究機関。現在、発酵茶ラボを開設し、国産紅茶・烏龍茶づくりの研修もできる。



- 設置年 明治40年
- 研究領域と主な研究内容

区分	内容・特徴
栽培育種科	茶園管理の省力・軽労化、低コスト化のための技術開発、安定生産技術、生育制御技術の開発、優良品種の育成など
生産環境科	施肥技術、生育診断・制御技術の開発 IPMの確立、生物多様性管理技術の開発など
商品開発科	特徴的な香味や機能を活かした茶新商品、茶の多用途利用技術の開発、茶の品質評価技術、コスト低減や製茶ラインの衛生管理技術の確立

川根本町 フォーレなかかわね茶茗館

お茶をキーワードに暮らし、自然、産物などを紹介し、お茶の魅力を遊学できる川根茶のテーマパークとして旧中川根町（現本川根町）が設置。国土交通省指定の「道の駅」でもあり、地域の産物販売や茶関連イベントも開催される。



- 設置年 平成10年
- 主な施設機能

区分	内容・特徴
茶室	「お茶の伝習室」。お茶の淹れ方体験やお菓子を味わえる。
展示室	茶業の歴史を出土品や文献、当時の道具の展示などで紹介。
多目的スペース	地域交流スペース、影絵作家・藤城清治氏ギャラリーを併設。
売店	川根茶のほか町の特産品を販売。

島田市 (独)農業・食品産業技術総合研究機構 野菜茶業研究所金谷茶業研究拠点

茶の新品種の開発、栽培や収穫の省力・低コスト化、機能性の解明や品質の評価方法まで、生産から一次加工にいたる幅広い分野を対象とする国の研究機関



- 設置年 大正8年
- 研究領域と研究グループ

区分	内容・特徴
研究領域	茶の品種育成、省力・低コスト・安定生産、病害虫制御、品質及び機能性成分の評価と利用に関する技術開発に係る試験及び研究並びに調査に関する業務
研究グループ	・茶安定生産技術研究グループ ・環境保全型茶生産技術研究グループ ・茶品質・機能性研究グループ

茶資源マップ

「しずおか茶の都マップ」より抜粋



- 01 香りの丘茶ピア「茶遊庵」
- 02 瀬尻の段々茶園
- 03 浜松市茶室「松韻亭」
- 04 気賀林顕彰碑
- 05 旧赤松邸・旧赤松家記念館
- 06 森山焼
- 07 茶壺(森町文化会館)
- 08 栄西禅師像(油山寺内)
- 09 粟ヶ岳の茶文字と茶草場
- 10 旧赤レンガ倉庫
- 11 掛川城公園「二の丸茶室」
- 12 湧水亭(清水邸庭園内)
- 13 高林謙三記念石碑
- 14 松下幸作顕彰碑
- 15 静岡県茶業研究センター
- 16 お茶の郷
- 17 中條景昭像
- 18 栄西禅師像(牧之原公園内)
- 19 道の駅フォーレなかかわね茶茗館
- 20 蓬莱橋
- 21 牧之原大茶園
- 22 グリンピア牧之原
- 23 村松嘉蔵翁頌徳碑
- 24 中村光四朗顕彰碑
- 25 茶製人山本長右衛門碑
- 26 中山新道の道銭場跡
- 27 志戸呂焼と志戸呂焼ルーツ
- 28 (独)野菜茶業研究所金谷茶業研究拠点
- 29 ①阪本調整水槽②金谷28工区ファームポンド
- 30 ①仲田源蔵像②仲田源蔵報恩碑
- 31 伊佐新次郎書碑
- 32 製茶元祖坂本藤吉頌徳碑



- 33 旧伊久美銀行・現二俣公会堂
- 34 東名高速牧之原サービスエリア内の茶園
- 35 村松吉平の碑
- 36 ヘリヤ商会感謝状英文碑
- 37 道の駅 玉露の里・玉露茶園
- 38 旧藤枝製茶貿易会社
- 39 蘭字ギャラリー
- 40 旧藤枝製茶工場跡
- 41 瀬戸ノ谷の大茶樹
- 42 足久保の段々茶園と狐石
- 43 お茶壺屋敷とお茶壺道中
- 44 旧マッケンジー邸
- 45 聖一国師生誕碑
- 46 やぶきた原樹
- 47 多田元吉碑
- 48 吐月峰柴屋寺
- 49 築地光太郎・大棟藤吉碑
- 50 縁側お茶カフェ(大間地区)
- 51 縁側お茶カフェ(大沢地区)
- 52 賤機(しずはた)焼「秋果陶房」
- 53 静岡茶市場
- 54 静岡県茶手揉保存会
- 55 茶師の幟
- 56 茶町の茶蔵
- 57 円通大応国師産湯の井
- 58 臨濟寺茶祖堂・聖一国師木像
- 59 俵沢のつづら折り茶園
- 60 海舟庵(曹洞宗 宝寿院)
- 61 阪本藤吉製茶之碑
- 62 ①丸尾翁頌徳碑②丸尾文六碑

- 63 ①従三位関口君之碑②関口隆吉顕彰碑
- 64 杉山彦三郎の胸像
- 65 もみじ亭(駿府城公園紅葉山庭園)
- 66 静岡市茶町
- 67 喫茶一茶
- 68 静岡駅構内の茶樹
- 69 しずおかO-CHAプラザ
- 70 静岡鉄道(新静岡駅)
- 71 大谷嘉兵衛像
- 72 グランシップの茶園
- 73 杉山彦三郎記念茶樹
- 74 聖一国師堂
- 75 ちゃつきり節の碑
- 76 海野幸三郎の碑
- 77 フェルケール博物館
- 78 清見寺
- 79 御幸亭(由比本陣記念館)
- 80 富士市大淵の茶畑と次郎長開聖記念碑
- 81 ただにしきの茶園
- 82 天下一製法
- 83 翠松亭(沼津御用邸記念公園)
- 84 江原素六像